

丹波縄文の森塾 活動報告

令和8年2月14日（土） 晴



シューベルト花壇 1



シューベルト花壇 2



シューベルト花壇 3



記念植樹（集合写真）



丹波縄文の森塾、最終日。春のような日差しの中、シューベルト花壇にパンジー、ビオラ、ノースポールなどを植えました。花は、サポーターから提供していただきました。また、記念植樹として、バラ（群舞、チャールストン、ブリリアント・ピンク・アイスバーグ）を植樹しました。群舞（ぐんまい）は、トゲが少ない、つる性のバラ。チャールストンは、黄色と赤色のグラデーションが美しいバラ。ブリリアント・ピンク・アイスバーグは、ピンクにローズ色がのる八重咲きのバラです。春にどんな花を咲かせるのか楽しみです。

シューベルト花壇は、2014年6月、丹波の森協会とウィーン13区の友好親善提携20周年を記念して作られました。今年で12年になります。これからも友好親善の象徴として大切にしていきたいです。いつの日にかウィーンを訪れたいものです。

今年最後の縄文の森塾を締めくくる閉塾式では、一年間の活動をスライド写真で振り返りました。田植え、稲刈り、脱穀、餅つき、ツリーイング（木登り）、草木染め、縄文土器作り、オオムラサキの観察、水生生物の観察、秋のしおり作り、ドングリ工作、しめ飾り作り、凧作り、里山散策などさまざまな体験をしました。それぞれの体験を通じて、自然や日本の文化、人との関わりについて学ぶことが多くあったと思います。

スライドショーの後、ひとりひとり感想を発表してもらいました。これまでお世話になったサポーターや指導者の方々への感謝の気持ちをしっかり伝えた塾生の姿に感心しました。

これからも丹波の自然、文化、人を愛し、自然に学び、ふるさとを大切にする人であってほしいと思います。

